

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 セック

コード番号 3741 URL <http://www.sec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 秋山 逸志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 中川 美和子

TEL 03-5491-4770

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	807	20.5	80	140.8	86	61.1	53	66.2
24年3月期第1四半期	670	6.0	33	—	53	—	31	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	20.71	—
24年3月期第1四半期	12.46	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,321	3,619	83.8
24年3月期	4,373	3,648	83.4

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,619百万円 24年3月期 3,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,540	6.2	150	31.6	160	2.3	90	1.5	35.16
通期	3,180	3.1	350	15.1	400	△8.1	240	△1.2	93.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	2,560,000 株	24年3月期	2,560,000 株
25年3月期1Q	255 株	24年3月期	255 株
25年3月期1Q	2,559,745 株	24年3月期1Q	2,559,745 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における我が国情報サービス業の業況は、経済産業省「特定サービス産業動態統計」によると、平成24年4月の月別売上高は前年同月比で減少しましたが、5月は増加となっており、IT需要は全体的には横ばいと推察されます。当社事業分野では、オープンプラットフォームを中心に商談の引き合いはあるものの、競争入札やコンペが定常化し、受注の見通しが立てにくい状況が続きました。

こうした傾向の中、当社は、重点テーマであります「変化先取りに注力し技術提案力で顧客基盤のさらなる強化を図る」を実践し増収増益となりました。

ビジネスフィールド（以下、ビジネスフィールドをBFと省略）別には、モバイルネットワークBFは、移動体通信事業者向けのオープンプラットフォームに関連する商談は堅調でしたが、基幹ネットワーク関連の技術アプリケーションの開発が終了し、売上高は85百万円（前年同期比18.9%減）となりました。ワイヤレスBFは、携帯メーカー向けのAndroid搭載スマートフォンのエンベデッドソフトウェアは減少傾向にありますが、オープンプラットフォーム化による新たなサービスを提供するアプリケーションの開発が増加し、売上高は363百万円（同12.0%増）となりました。インターネットBFは、非接触型ICのエンベデッドソフトウェアが堅調を維持し、民間の設備投資の技術アプリケーションが回復したことから、売上高は152百万円（同60.8%増）となりました。社会基盤システムBFは、防衛など官公庁系の技術アプリケーションが回復し、売上高は69百万円（同45.5%増）となりました。宇宙先端システムBFは、宇宙関連の地上系の技術アプリケーションが回復傾向になり、売上高は66百万円（同13.4%増）となりました。また、ソリューションビジネスは、地上デジタル放送用組込みソフトウェア（製品名：airCube）の販売が堅調で、売上高は70百万円（同78.2%増）となりました。

この結果、全社売上高に占める割合では、インターネットBF、社会基盤システムBF及びソリューションが増加し、その他のBFが低下しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高807百万円（前年同期比20.5%増）、営業利益80百万円（同140.8%増）、経常利益86百万円（同61.1%増）、四半期純利益53百万円（同66.2%増）となりました。

ビジネスフィールド（BF）別売上高

ビジネスフィールド	前第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
モバイルネットワーク	105,095	15.7	85,211	10.6
ワイヤレス	324,257	48.4	363,087	45.0
インターネット	95,133	14.2	152,983	18.9
社会基盤システム	47,716	7.1	69,405	8.6
宇宙先端システム	58,597	8.7	66,448	8.2
ソリューション	39,598	5.9	70,574	8.7
計	670,398	100.0	807,710	100.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

ビジネスフィールド（BF）別受注状況

ビジネスフィールド	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
モバイルネットワーク	59,375	96.0	101,971	101.2
ワイヤレス	277,840	64.3	267,422	106.9
インターネット	135,616	127.1	165,058	125.4
社会基盤システム	41,427	155.4	93,509	193.7
宇宙先端システム	86,378	183.8	81,402	121.0
ソリューション	195,875	126.6	191,413	94.2
計	796,513	96.0	900,778	112.4

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産は、前事業年度末に比べ52百万円減少し、4,321百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加283百万円、受取手形及び売掛金の減少339百万円などによる流動資産の減少52百万円によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ23百万円減少し、701百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少157百万円、賞与引当金の減少106百万円、短期借入金の増加88百万円などによる流動負債の減少30百万円によるものであります。

純資産は、四半期純利益による増加、配当金支払いによる減少などの結果、前事業年度末に比べ28百万円減少し、3,619百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の83.4%から83.8%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成24年5月11日の「平成24年3月期決算短信（非連結）」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益への影響はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,996,458	2,280,021
受取手形及び売掛金	1,019,954	679,970
その他	154,462	158,502
流動資産合計	3,170,875	3,118,494
固定資産		
有形固定資産	62,767	59,156
無形固定資産	164,154	168,878
投資その他の資産		
長期預金	500,000	500,000
前払年金費用	13,956	13,142
その他	461,846	461,710
投資その他の資産合計	975,802	974,852
固定資産合計	1,202,724	1,202,887
資産合計	4,373,600	4,321,381
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,654	39,685
短期借入金	36,000	124,000
未払法人税等	186,686	29,382
賞与引当金	211,000	105,000
その他	187,980	340,575
流動負債合計	669,320	638,643
固定負債		
役員退職慰労引当金	45,459	47,334
退職給付引当金	—	5,457
資産除去債務	10,153	10,192
固定負債合計	55,612	62,984
負債合計	724,933	701,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,300	477,300
資本剰余金	587,341	587,341
利益剰余金	2,596,201	2,572,419
自己株式	△293	△293
株主資本合計	3,660,549	3,636,767
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,881	△17,013
評価・換算差額等合計	△11,881	△17,013
純資産合計	3,648,667	3,619,753
負債純資産合計	4,373,600	4,321,381

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	670,398	807,710
売上原価	495,078	591,463
売上総利益	175,319	216,247
販売費及び一般管理費	141,696	135,270
営業利益	33,623	80,976
営業外収益		
受取利息	2,334	1,931
受取配当金	375	451
補助金収入	15,874	1,328
受取出向料	1,593	1,674
その他	975	1,252
営業外収益合計	21,153	6,639
営業外費用		
支払利息	160	162
不動産賃貸費用	256	265
為替差損	679	701
営業外費用合計	1,096	1,129
経常利益	53,680	86,486
特別損失		
固定資産除却損	—	48
特別損失合計	—	48
税引前四半期純利益	53,680	86,438
法人税、住民税及び事業税	20,303	28,098
法人税等調整額	1,488	5,329
法人税等合計	21,792	33,428
四半期純利益	31,888	53,010

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。